国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和 ７ 年 ５ 月 ２７ 日
国土交通省九州地方整備局
大 分 河 川 国 道 事 務 所

『堤防決壊時の緊急対策シミュレーション』を開催します！

～洪水期を前に非常事態に備える～

全国各地で毎年のように観測史上最大の降雨量が記録され、堤防決壊等に伴う浸水被害が発生しています。

大分河川国道事務所ではこのような非常事態に備え、堤防決壊時に行う緊急的な機能回復対策のシミュレーション(模擬検討)を平成 22 年度から毎年度実施し、決壊想定地点ごとの対策案を蓄積しています。

今年度のシミュレーションは、大分川水系、大野川水系の２地点での決壊を想定して行い、**報道機関の取材を初めて受入**いたします。

令和７年度シミュレーションの開催概要

日時：５月３０日（金）13:30開始

場所：大分河川国道事務所　3F　防災情報センター

参加：九州防災エキスパート会、災害協定業者、職員

- 取材は13:30～16:30頃までの間で随時していただけます。
- シミュレーションの様子をご覧いただけます。

【問合せ先】
国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所
技術副所長　：　平岡 博志（ひらおか　ひろし）
工務第一課長　：　高瀬 智（たかせ　あきら）
ＴＥＬ：０９７－５４４－４１６７（代表）
ＴＥＬ：０９７－５４６－１４７４（直通）

令和７年度予算の概要

気候変動による水災害の激甚化・頻発化

参考資料

○ 短時間強雨の発生の増加や台風の大型化等により、近年は浸水被害が頻発しており、既に地球温暖化の影響が顕在化しているとみられる。さらに今後、気候変動による水災害の激甚化・頻発化が予測されている。

○ こうした災害に備え、国土強靱化の取組を着実に推進するため、「実施中期計画」策定に係る検討を最大限加速化し、早急に策定する。

■毎年のように全国各地で浸水被害が発生

【平成27年9月関東・東北豪雨】

②小本川の氾濫による浸水被害
（岩手県岩泉町）

【平成28年8月台風第10号】

③空知川の堤防決壊による浸水被害
（北海道南富良野町）

【平成29年7月九州北部豪雨】

④赤谷川における浸水被害
（福岡県朝倉市）

【平成30年7月豪雨】

⑥肱川における浸水被害
（愛媛県大洲市）

【令和元年東日本台風】

【令和2年7月豪雨】

⑧球磨川における浸水被害
（熊本県人吉市）

【令和3年8月の大雨】

⑨池町川における浸水被害
（福岡県久留米市）

【令和4年8月の大雨】

⑩最上川における浸水被害
（山形県大江町）

【令和5年7月の大雨】

【令和6年9月の大雨】

⑫塚田川における人家流失・流木阻害
（石川県輪島市）

出典：国土交通省HP「令和7年度国土交通省予算概要　水・国土保全局」より

参考資料

令和元年10月 東日本台風

熊本県　球磨川

令和3年8月豪雨

佐賀県　六角川